



2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年8月4日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所

東

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 掬川 正純

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹生 昭彦

(TEL) 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日 2021年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	173,223	2.4	14,186	△45.4	15,928	△41.1	11,797	△39.7	10,815	△41.9	14,368	△3.7
2020年12月期第2四半期	169,111	1.1	25,968	101.5	27,041	98.3	19,557	99.1	18,623	114.3	14,923	47.4

(注) 事業利益 2021年12月期第2四半期 14,032百万円(△14.3%) 2020年12月期第2四半期 16,372百万円(31.4%)

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	37.20	37.14
2020年12月期第2四半期	64.06	63.98

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	416,627	254,748	241,606	58.0
2020年12月期	435,501	244,856	231,723	53.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	11.00	—	12.00	23.00
2021年12月期	—	12.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	365,000	2.7	30,000	△31.9	21,500	△28.0	円 銭 73.95

(注) 1. 事業利益 通期 30,000百万円

2. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	299,115,346 株	2020年12月期	299,115,346 株
2021年12月期2Q	8,381,802 株	2020年12月期	8,399,357 株
2021年12月期2Q	290,726,043 株	2020年12月期2Q	290,709,448 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の連結業績は、売上高1,732億2千3百万円（前年同期比2.4%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比1.3%増）、事業利益140億3千2百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益141億8千6百万円（同45.4%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益108億1千5百万円（同41.9%減）となりました。

当社グループは、新たに中長期経営戦略フレーム「*Vision 2030*」を策定し、サステナビリティ重要課題への取組みを推進するとともに、3つの成長戦略である、「4つの提供価値領域における成長加速」、「成長に向けた事業基盤への変革」、「変革を実現するダイナミズムの創出」にもとづく施策を推進しています。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、当社グループは感染拡大の防止と従業員の安全確保に最大限努めるとともに、衛生習慣の定着に向けた活動にも注力しています。

国内事業では、ハミガキ、ハブラシ、衛生関連品、柔軟剤、台所用洗剤、皮膚用薬等において新製品を導入し、効率的なマーケティング施策等により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野の拡大施策を推進するとともに、洗濯用洗剤等のホームケア分野の競争力強化と収益性向上に取り組みました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	173,223		169,111		4,111	2.4%
事業利益	14,032	8.1%	16,372	9.7%	△2,340	△14.3%
営業利益	14,186	8.2%	25,968	15.4%	△11,781	△45.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	10,815	6.2%	18,623	11.0%	△7,807	△41.9%

(注) 事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（事業利益）			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	116,645	115,737	908	0.8%	8,250	11,768	△3,518	△29.9%
産業用品事業	28,434	27,124	1,310	4.8%	1,413	1,040	373	35.9%
海外事業	53,594	49,687	3,907	7.9%	3,481	3,311	170	5.1%
その他	16,363	14,580	1,783	12.2%	1,014	895	118	13.3%
小計	215,038	207,128	7,909	3.8%	14,159	17,015	△2,855	△16.8%
調整額	△41,815	△38,017	△3,798	—	△127	△643	515	—
合計	173,223	169,111	4,111	2.4%	14,032	16,372	△2,340	△14.3%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」で構成されています。全体の売上高は、前年同期比0.8%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期比△29.9%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	116,645		115,737		908	0.8%
セグメント利益	8,250	7.1%	11,768	10.2%	△3,518	△29.9%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では9,477百万円、前第2四半期では7,627百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	32,150	30,647	1,502	4.9%
ビューティケア分野	11,650	16,182	△4,532	△28.0%
ファブリックケア分野	28,592	26,914	1,678	6.2%
リビングケア分野	11,596	11,955	△358	△3.0%
薬品分野	11,415	10,908	506	4.6%
その他の分野	21,239	19,128	2,111	11.0%

(オーラルケア分野)

ハミガキは、「システム E X^{イーエックス} ハミガキ」が前年同期を下回りましたが、「システム ハグキプラス プレミアムハミガキ」が好調に推移するとともに、歯の表面にできるマイクロなキズに残る着色汚れまで徹底除去する美白ハミガキの新製品「Lightee^{ライテイー} ハミガキ」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を上回りました。

ハブラシは、「クリニカドバンテージ ハブラシ」や「NONIO^{ノニオ} ハブラシ」が好調に推移するとともに、効率よく歯垢を除去できる幅広ヘッドと、お口の中で動かしやすい薄型ヘッドを両立させた「システム ハブラシ 極上プレミアム」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を上回りました。

デンタルリンスは、昨年発売した「NONIO^{ノニオ} プラスホワイトニングデンタルリンス」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を上回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、前年同期の需要拡大の反動で「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

ボディソープは、「hadakara^{ハダカラ} ボディソープ」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

制汗剤は、「Ban^{バン} 汗ブロックロールオン」シリーズが前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ファブリックケア分野)

柔軟剤は、「ソフラン アロマリッチ」が好調に推移するとともに、「ソフラン プレミアム消臭」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

洗濯用洗剤は、液体洗剤「トップ クリアリキッド」が前年同期を下回りましたが、液体高濃度洗剤「トップ スーパー^{ナノックス}NANOX ニオイ専用」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、食器洗い機専用洗剤「CHARMY クリスタ」が好調に推移するとともに、「CHARMY Magica」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルックプラス おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移するとともに、浴室用洗剤「ルックプラス バスタブクレンジング」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

調理関連品は、「リード クッキングペーパー」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリン」シリーズが前年同期を大幅に上回り、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

点眼剤は、「スマイル40 プレミアム^{ディーエックス} D X」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が順調に推移するとともに、オーラルケア用品が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業は、タイヤの防着剤等を取り扱う「モビリティ分野」、2次電池用導電性カーボン等の「エレクトロニクス分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比4.8%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期比35.9%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	28,434		27,124		1,310	4.8%
セグメント利益	1,413	5.0%	1,040	3.8%	373	35.9%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では11,803百万円、前第2四半期では11,925百万円となっております。

モビリティ分野では、タイヤの防着剤やゴム離型剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

エレクトロニクス分野では、車載電池向けカーボンが好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

業務用洗浄剤分野では、ハンドソープが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比7.9%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は3.4%の増加)となりました。セグメント利益は、前年同期比5.1%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	53,594		49,687		3,907	7.9%
セグメント利益	3,481	6.5%	3,311	6.7%	170	5.1%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では5,293百万円、前第2四半期では5,379百万円となっております。

[地域別売上状況]

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
東南アジア	34,251	32,591	1,660	5.1%
北東アジア	19,342	17,095	2,247	13.1%

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比5.1%の増加となりました。

タイでは、洗濯用洗剤が順調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

また、マレーシアでは洗濯用洗剤「トップ」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比13.1%の増加となりました。

韓国では、ハンドソープが前年同期を下回りましたが、為替変動の影響により円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

また、中国では、「システム」ハブラシに加え、日本からの輸入品の販売が前年同期を大幅に上回り、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

＜その他＞（建設請負事業等）

（単位：百万円）

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	16,363		14,580		1,783	12.2%
セグメント利益	1,014	6.2%	895	6.1%	118	13.3%

（注）売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では15,192百万円、前第2四半期では13,119百万円となっております。

（2）財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および資本の状況
（連結財政状態）

	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末	増減
資産合計（百万円）	416,627	435,501	△18,873
資本合計（百万円）	254,748	244,856	9,891
親会社所有者帰属持分比率（%）	58.0	53.2	4.8

資産合計は、現金及び現金同等物の減少等により、前連結会計年度末と比較して188億7千3百万円減少し、4,166億2千7百万円となりました。資本合計は、98億9千1百万円増加し、2,547億4千8百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は58.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月30日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

（当期業績予想値算出の前提条件）

主要な為替レートは、110円/米ドル、3.4円/バーツとしています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	121,534	90,136
営業債権及びその他の債権	62,421	58,043
棚卸資産	45,158	53,996
その他の金融資産	8,592	9,974
その他の流動資産	5,108	8,046
小計	242,815	220,198
売却目的で保有する資産	2,603	—
流動資産合計	245,419	220,198
非流動資産		
有形固定資産	118,379	123,784
のれん	182	182
無形資産	18,921	20,345
使用権資産	4,873	6,642
持分法で会計処理されている 投資	6,310	6,655
繰延税金資産	5,632	3,982
退職給付に係る資産	9,936	9,460
その他の金融資産	24,859	24,155
その他の非流動資産	986	1,219
非流動資産合計	190,081	196,429
資産合計	435,501	416,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	141,259	124,624
借入金	1,405	1,412
未払法人所得税等	11,569	2,381
引当金	1,401	1,544
リース負債	1,387	1,553
その他の金融負債	893	805
その他の流動負債	8,710	5,417
流動負債合計	166,628	137,740
非流動負債		
借入金	639	525
繰延税金負債	1,278	1,275
退職給付に係る負債	13,009	11,601
引当金	357	330
リース負債	4,685	6,359
その他の金融負債	2,487	2,478
その他の非流動負債	1,558	1,568
非流動負債合計	24,016	24,138
負債合計	190,644	161,879
資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	34,986	35,032
自己株式	△4,739	△4,730
その他の資本の構成要素	10,076	11,166
利益剰余金	156,965	165,704
親会社の所有者に帰属する 持分合計	231,723	241,606
非支配持分	13,133	13,141
資本合計	244,856	254,748
負債及び資本合計	435,501	416,627

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	169,111	173,223
売上原価	△83,507	△86,830
売上総利益	85,604	86,393
販売費及び一般管理費	△69,231	△72,360
その他の収益	11,521	647
その他の費用	△1,925	△493
営業利益	25,968	14,186
金融収益	445	481
金融費用	△76	△69
持分法による投資利益	703	1,330
税引前四半期利益	27,041	15,928
法人所得税費用	△7,484	△4,131
四半期利益	19,557	11,797
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	18,623	10,815
非支配持分	933	981
四半期利益	19,557	11,797
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	64.06	37.20
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	63.98	37.14

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	19,557	11,797
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	△939	△125
確定給付型退職給付制度の再測定額	△1,924	1,295
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△15	14
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△2,879	1,184
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	—	△1
在外営業活動体の換算差額	△1,627	1,169
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△127	218
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△1,754	1,385
税引後その他の包括利益合計	△4,634	2,570
四半期包括利益	14,923	14,368
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	14,561	13,319
非支配持分	361	1,048
四半期包括利益	14,923	14,368

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2020年1月1日残高	34,433	34,788	△4,739	143	11,289	—
四半期利益						
その他の包括利益					△921	△1,924
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△921	△1,924
配当金						
自己株式の取得			△1			
自己株式の処分						
株式報酬取引		43				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△30	1,924
所有者との取引額等合計	—	43	△1	—	△30	1,924
2020年6月30日残高	34,433	34,831	△4,741	143	10,337	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2020年1月1日残高	—	△113	11,320	132,619	208,421	12,780	221,201	
四半期利益			—	18,623	18,623	933	19,557	
その他の包括利益	—	△1,215	△4,061		△4,061	△572	△4,634	
四半期包括利益合計	—	△1,215	△4,061	18,623	14,561	361	14,923	
配当金			—	△3,197	△3,197	△823	△4,021	
自己株式の取得			—		△1		△1	
自己株式の処分			—		—		—	
株式報酬取引			—		43		43	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1,894	△1,894	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	1,894	△5,091	△3,156	△823	△3,979	
2020年6月30日残高	—	△1,329	9,152	146,150	219,826	12,318	232,145	

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2021年1月1日残高	34,433	34,986	△4,739	138	10,592	—
四半期利益						
その他の包括利益					△82	1,295
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△82	1,295
配当金						
自己株式の取得			△1			
自己株式の処分		1	10	△2		
株式報酬取引		44				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△115	△1,295
所有者との取引額等合計	—	45	8	△2	△115	△1,295
2021年6月30日残高	34,433	35,032	△4,730	135	10,394	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2021年1月1日残高	△0	△654	10,076	156,965	231,723	13,133	244,856	
四半期利益			—	10,815	10,815	981	11,797	
その他の包括利益	△1	1,292	2,503		2,503	66	2,570	
四半期包括利益合計	△1	1,292	2,503	10,815	13,319	1,048	14,368	
配当金			—	△3,488	△3,488	△1,040	△4,528	
自己株式の取得			—		△1		△1	
自己株式の処分			△2		8		8	
株式報酬取引			—		44		44	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△1,411	1,411	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	△1,413	△2,077	△3,436	△1,040	△4,476	
2021年6月30日残高	△1	638	11,166	165,704	241,606	13,141	254,748	

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。国内の関係会社は、製品・サービスの特性に応じて営業活動を行っております。

海外の関係会社は、独立した経営単位であり、地域の特性に応じて営業活動を行っております。

したがって、当社グループは、事業本部および会社を基礎とした製品・サービス別および地域別のセグメントから構成されており、「一般用消費財事業」、「産業用品事業」、「海外事業」の3つの報告セグメントに区分しております。

当社グループの報告セグメントは、以下のとおりであります。

① 一般用消費財事業

主に日本において、日用品、一般用医薬品、機能性食品の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)ハミガキ、ハブラシ、ハンドソープ、解熱鎮痛薬、点眼剤、栄養ドリンク剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤、柔軟剤、住居用洗剤、漂白剤、ペット用品

② 産業用品事業

主に日本および海外諸地域に対する化学品原料、業務用品等の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤

③ 海外事業

海外の関係会社において、主に日用品の製造販売および売買を行っております。

④ その他

日本において当社の子会社が、主に当社グループの各事業に関連した事業を行っております。

(主要製品およびサービス)建設請負、不動産管理、人材派遣

(2) 報告セグメントの売上高および業績

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	108,109	15,198	44,307	1,460	169,076	35	169,111
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	7,627	11,925	5,379	13,119	38,052	△38,052	—
計	115,737	27,124	49,687	14,580	207,128	△38,017	169,111
事業利益	11,768	1,040	3,311	895	17,015	△643	16,372
その他の収益							11,521
その他の費用							△1,925
営業利益							25,968
金融収益							445
金融費用							△76
持分法による投資利益							703
税引前四半期利益							27,041

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整△643百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益	85,604百万円
販売費及び一般管理費	△69,231百万円
事業利益	16,372百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	107,168	16,631	48,301	1,171	173,272	△48	173,223
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	9,477	11,803	5,293	15,192	41,766	△41,766	—
計	116,645	28,434	53,594	16,363	215,038	△41,815	173,223
事業利益	8,250	1,413	3,481	1,014	14,159	△127	14,032
その他の収益							647
その他の費用							△493
営業利益							14,186
金融収益							481
金融費用							△69
持分法による投資利益							1,330
税引前四半期利益							15,928

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整△127百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益	86,393百万円
販売費及び一般管理費	△72,360百万円
事業利益	14,032百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。